

日刊 動労千葉

86.3.7

No. 2185

国鉄千葉動力車労働組合

(鉄電)二五二五〇六・(公衆)〇四七二二二七〇七

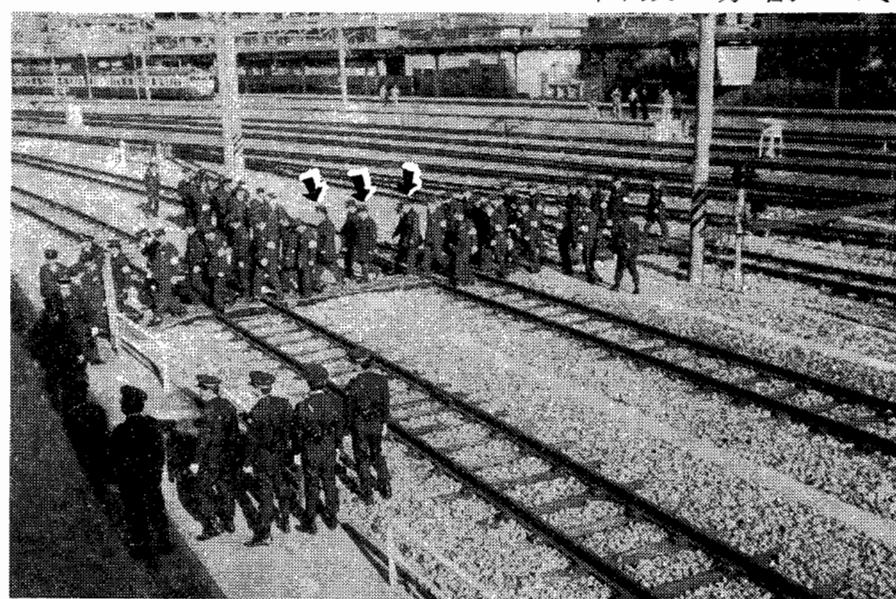
**3万人大合理化「3・3ダイ改」
運転保安無視の**

**業務移管一
基地統廃合に実力反撃
成田地区**

本部主催、北総
地区3・3ダイ改強
行糾弾抗議集会は、
三月三日、吹きすさ
ぶ寒風をものともせ
ず、成田支部、銚子、
佐倉の仲間一二三名
の結集のもと、成田
運転区庁舎前で開催された。錦織本部交渉委員の司会のもと
で冒頭あいさつに立った布施書記長は「われわれは、六一・
三ダイ改を認めていない。業務移管粉碎闘争は、われわれが存
在するかぎり日常的に闘う。闘いを継続することを中曾根・
杉浦を打倒していく」とあいさつした。つづいて銚子・佐
倉・各支部の力強い決意表明をうけたのち、森内支部長の決
意にうつった。つづいて銚子・佐倉支部長は「2・15ス
トを100%貫徹した力
で当局と徹底して闘
うことがわれわれの
生きる道だ。成田支
部は闘いを貫徹しぬ
く」と決意を述べた。
さらに青行隊より
決意をうけ断固たる
構内デモにうつり、
白腕で阻止線を張る
庁舎に怒りのシユブ
レビコールを叩きつけた。最後に布施書
記長の団結ガンバローで終了した。



2~3月連日の線見実力阻止闘争が、運転区構内・駅ホームで開かれられた。



たたた3名の東京北局からの線見乗務員をとりこんで毎日“大行列”。
2月初めより3月初めまで、成田運転支区だけで連日100名の白腕公安が常駐。

3月3日「61・3ダイ改強行弾劾」幕
張地区集会が開かれ、強力減産を終えた
日勤勤務者85名が参加しました。17時15
分、石幡書記長によって開会が告げられ、
支部を代表して滝口支部長が発言に立ち
「幕張支部は本日から第三波の順法闘争
に突入した、デタラメ極りない検修合理
化に対しても徹底抗戦で闘う。被処分者
を包みこみ『分割・民営化』阻止にむけ
て総団結・総行動を築きあげ闘いぬこう」と訴えました。つづいて片岡本部企画部
長が挨拶に立ち、「動労千葉は第二波の闘
いをあらゆる反動・重圧をはね返して一
人の脱落者もなく貫徹した。線見阻止に
おいても連日150~200名の動員力で当局を
追いつめてきている。こうした闘いに触
發され國労の中に流動化が生れはじめて
いる。今こそ更なる決意を固めて闘うな
らば必ず勝利の展望がでてくるはずであ
る」と闘いへの決起を訴えました。この
あと、吉野検修・検査分科会長、新藤本
部青年部長、伊藤幕張支部青行隊長から
決意表明をうけ、最後に白井副支部長の
団結ガンバローで閉会しました。

**検査周期延伸
大要員合理化許すな
幕張地区**



「裏切り者=線見乗務員は、出ていけ!」(幕張電車区構内で)

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ!